

第40回施工管理者安全推進大会

災害事例と安全管理

2026年度全国安全週間 スローガン

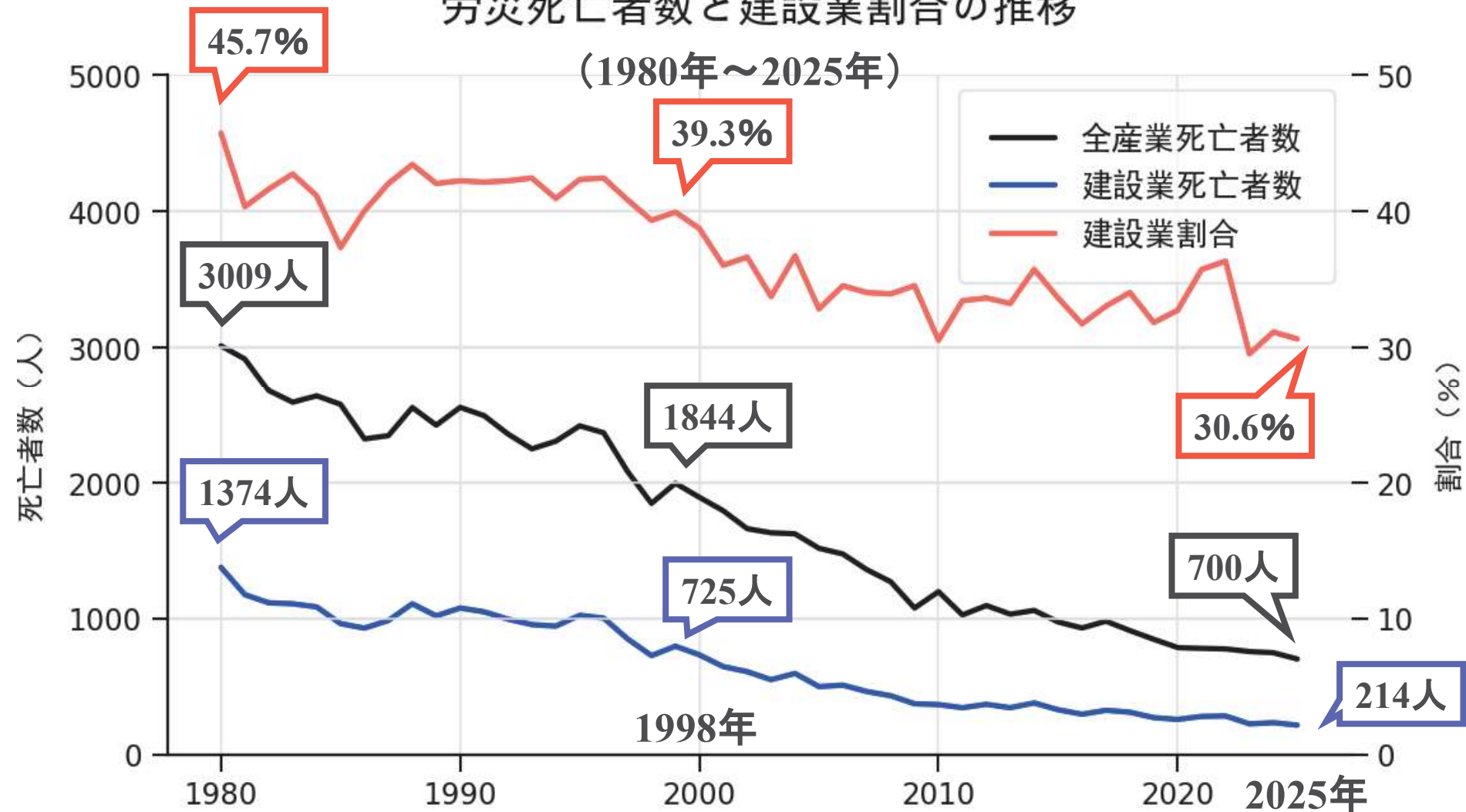
「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」

2026年6月9日（火）
一般社団法人 建築開口部協会
一般社団法人 日本サッシ協会



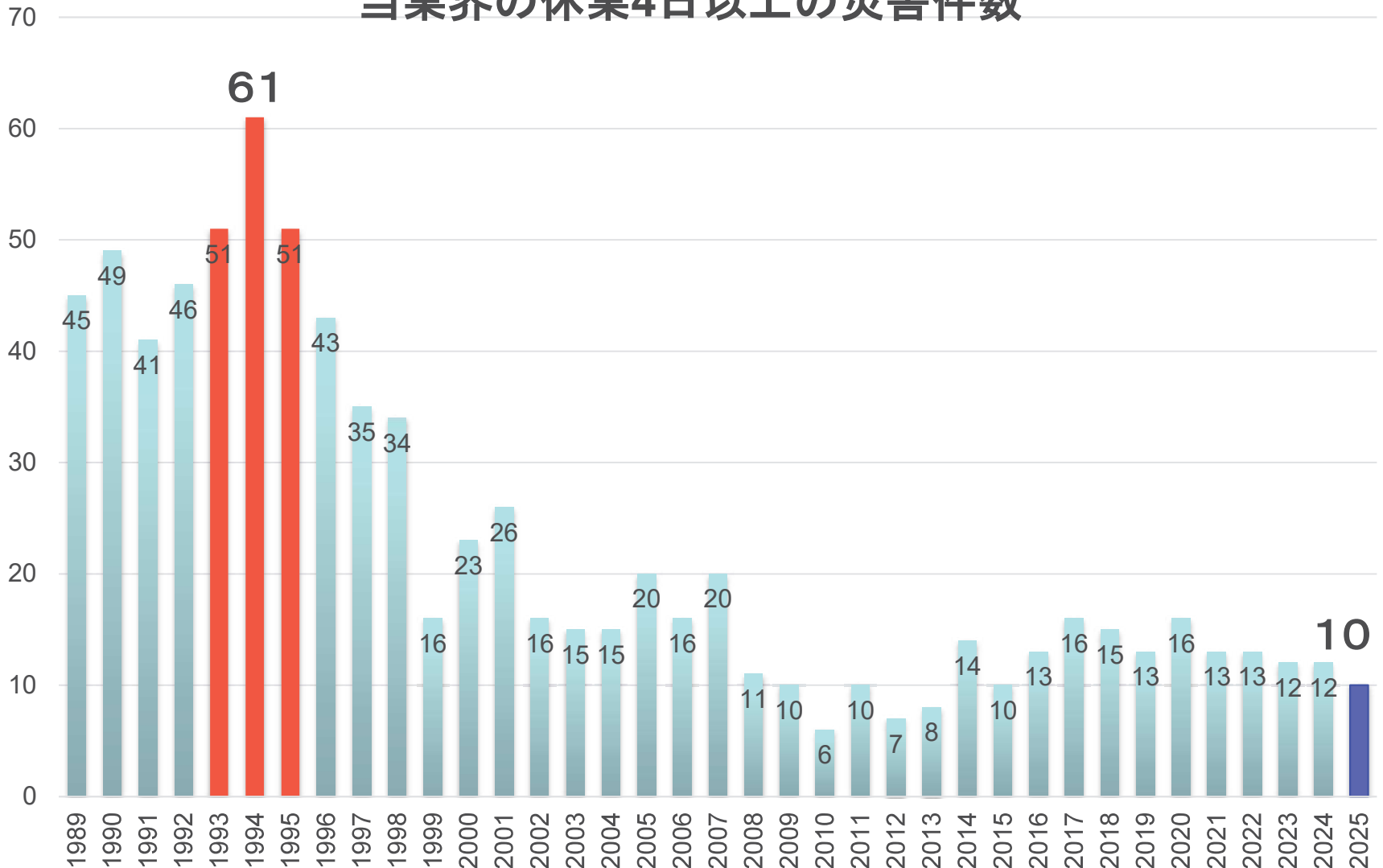
労災死亡者数と建設業割合の推移

(1980年～2025年)



- ① 2025年の全産業の死亡者数は700人で、前年の746人より46人減少
- ② うち、建設業は214人で、前年の232人より18人減少
- ③ 建設業の死亡災害は全産業の中では30.6%で、30%を超えている

当業界の休業4日以上の災害件数



- ◆25年の休業4日以上の被災者は10人で、死亡災害は無かった
- ◆ここ数年10人台で変わっていない、限界ではなく停滞！
- ◆過去にも類似災害が多く、再発防止には施工管理者の努力がまだまだ必要

当業界の労働災害統計②

職種	サッシ	鋼製 ドア	カーテン ウォール	シャッター	シーリング	その他	男
人数	3	3	0	3		1	10

職種別の
その他は
管理者

年齢 経験	20歳 以下	21歳～ 30歳以下	31歳～ 40歳以下	41歳～ 50歳以下	51歳～ 60歳以下	61歳 以上	経験小計 ↓
1年～ 5年以下		1	1				2
6年～ 10年以下		1					1
11年～ 20年以下				1	1		2
21年～ 30年以下					1		1
31年～ 40年以下					1	2	3
41年 以上						1	1
年齢小計 →	0	2	1	1	3	3	10

被災者が
二極化して
いる



◆被災者の経験年数、年齢は、2024年同様2025年も二極化の傾向にある

当業界の労働災害統計③

暑い時期の午後に災害が多く発生している

墜落転落及び転倒で6人圧倒的に多い



発生月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	1	2			1		2	2	2			

発生時間	8時以前	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降
件数		2			2			2	1	3		

休業日数 事故の型	墜落 転落	転倒	挟まれ	飛来 落下	激突	切れ 擦れ	休業日数 小計↓
4～10日	2		1			1	4
11～20日							0
21～30日		1					1
31～60日	1					1	2
61～90日							0
91～120日	1						1
120日以上	1				1		2
死亡							0
事故の型 小計→	5	1	1	0	1	2	10

災害事例No.1 墜落転落

【年齢・経験】51歳・31年

【作業】3人でアルミガリ（W850mm×H2940mm）を取付けていた（被災者は内部足場、外部足場に2人）

【発生状況】被災者の作業床を支えていた単管足場建地のジャッキベースが緩み、倒壊が始まったので、内部の床に飛び降りようとした

【事故の型】墜落転落

【傷病・日数】両足かかと骨折で121日休業

【不安全状態】

- ・単管足場建地は、床のジャッキベースで突っ張っているだけだったので、強度不足だった
- ・足場の作業前点検は省かれていた

【不安全行動】

- ・足場の点検を行わないで作業を開始した（危険軽視・近道省略行動本能）

※乗っていた場所が崩れて、動揺して落ちた場合は墜落転落に分類される



災害事例No.2 墜落転落

【年齢・経験】27歳・2年

【作業】重量シャッターを3人で荷受けしていた

【発生状況】トラックの荷台上を移動中、荷台に立て掛けていた輪木で躓いてバランスを崩したため地上に転落した

【事故の型】墜落転落

【傷病・日数】右肘上腕部創傷で7日休業

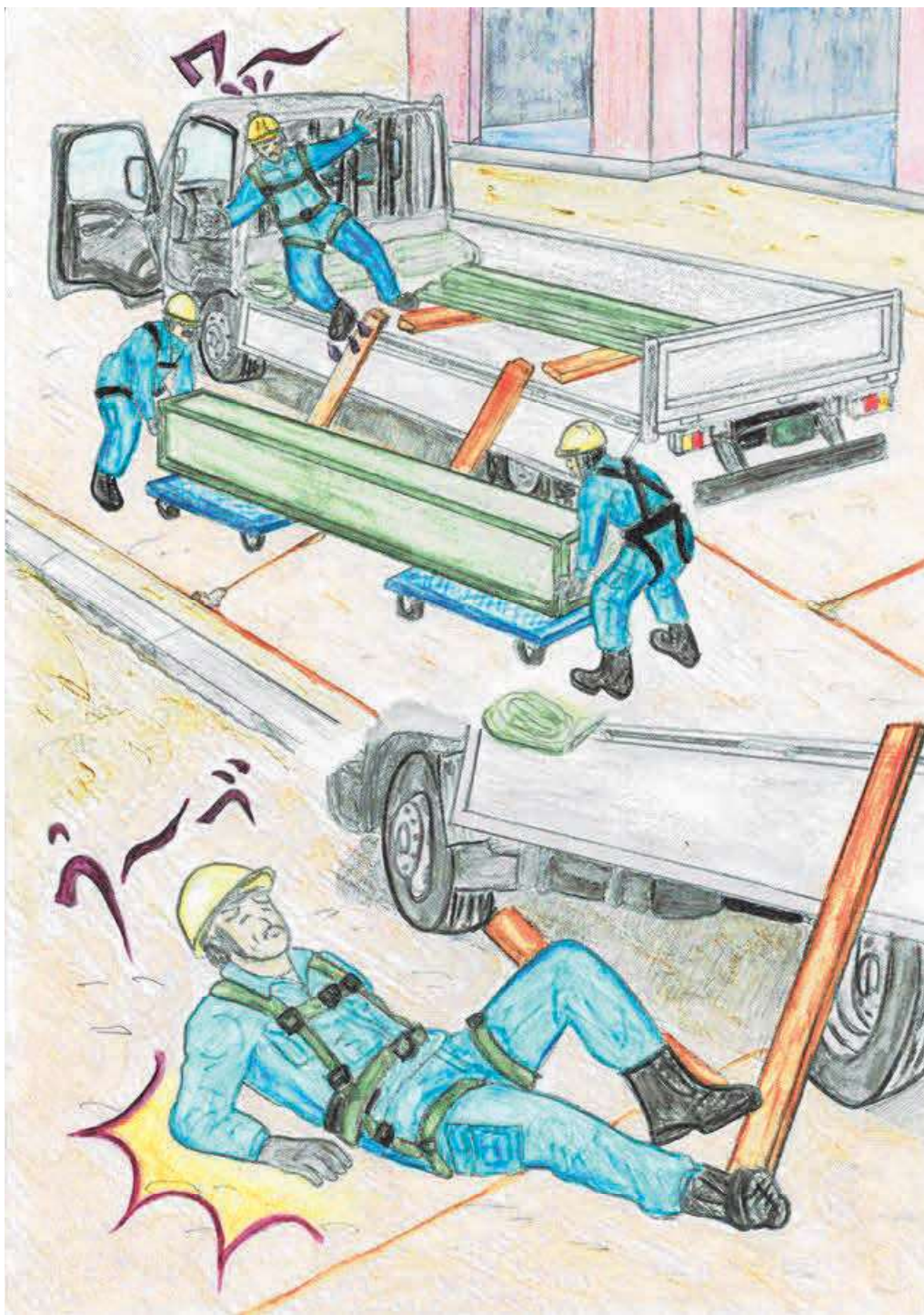
【不安全状態】

・荷台上の部材や立て掛けられた輪木などがあり、移動し難かった

【不安全行動】

・慣れた作業だと思って、作業手順を決めずに荷台に飛び乗っていた（危険軽視・集団欠陥・近道省略行動本能）

※昇降設備なし



災害事例No.3 墜落転落

【年齢・経験】38歳・5年

【作業】天井裏の点検口を確認するため、システム天井の上を歩いていた

【発生状況】扉の吊り込みが可能か確認するため、点検口の方を見ながら進んでいたところ、施工されていない天井の開口部から墜落した

【事故の型】墜落転落

【傷病・日数】両足かかと骨折で38日休業

【不安全状態】

- ・天井裏には照明がなく暗かった
- ・天井がなくなる手前に、注意標識や立入禁止措置がされていなかった

【不安全行動】

- ・暗い中を足元を確認せずに漫然と歩いていた（不注意・危険軽視）
- ・作業対象物である点検口の方ばかり見ていた（不注意）



災害事例No.4 墜落転落

【年齢・経験】64歳・36年

【作業】可搬式作業台を使つてのハンガードアを取付けしていた

【発生状況】作業台上に上って立ち上がった時にハンガーレールに頭をぶつけたため、バランスを崩して転落した

【事故の型】墜落転落

【傷病・日数】前額部挫創、頸部挫創、右下腿挫創、頸椎捻挫、腰椎捻挫、右耳介下皮下出血で93日休業

【不安全状態】

- ・建具開口部（3050mm）に対して作業台（1500mm）が高すぎた
- ・すぐ横で打合せをしている人がいたが、声掛けをしていなかった

【不安全行動】

- ・元請と他職が打合せ中のすぐ横に作業台を設置した（危険軽視・連絡不足）
- ・上部の高さをあまり気にせずに立ち上がった（不注意）

転落時に他職の女性のヘルメットと鼻に衝突したため、女性は後方に転倒（不休災害）



災害事例No.5 墜落転落

【年齢・経験】48歳・15年

【作業】2人でSD枠を階段から室内に小運搬していた

【発生状況】後ろ向きの被災者が、室内に入ったところにあった床ピット（600mm四方、深さ1メートル）に転落し、開口部の角で左脇腹を強打した

【事故の型】墜落転落

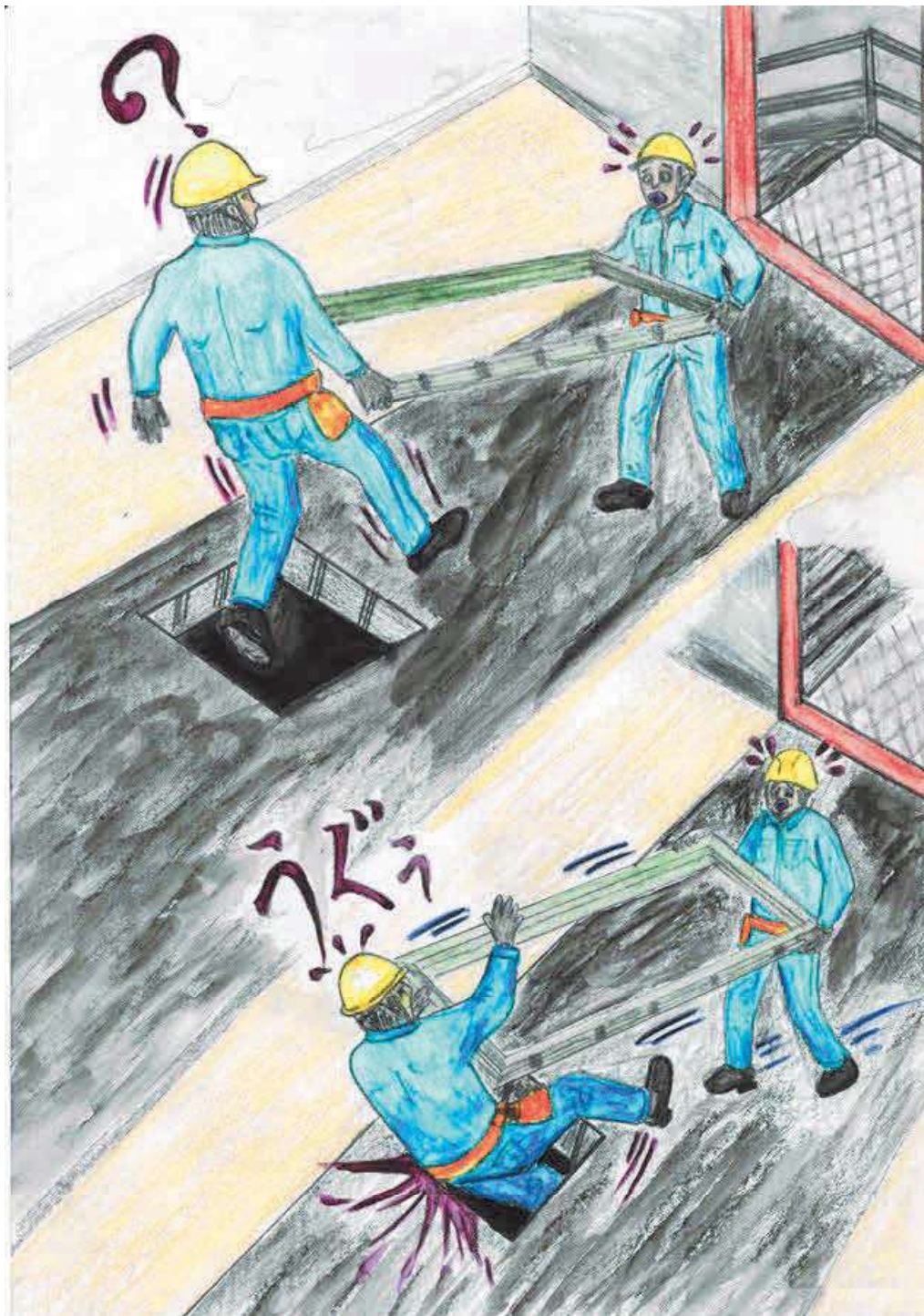
【傷病・日数】左脇腹骨折で4日休業

【不安全状態】

- ・床ピットには開口部養生蓋や注意標識が一切なかった
- ・動線となる床が黒塗りで、開口部が見つけにくかった

【不安全行動】

- ・後ろ向きで足元を確認せずに漫然と歩いていた（不注意・危険軽視）



災害事例No.6 転倒

【年齢・経験】23歳・6年

【作業】窓上部のチャンバーボックスを取付けしていた

【発生状況】作業台（らくらく台・Lサイズ）から降りる時に、床から出ている管に足を掛けたところ、バランスを崩して足を捻った

【事故の型】転倒

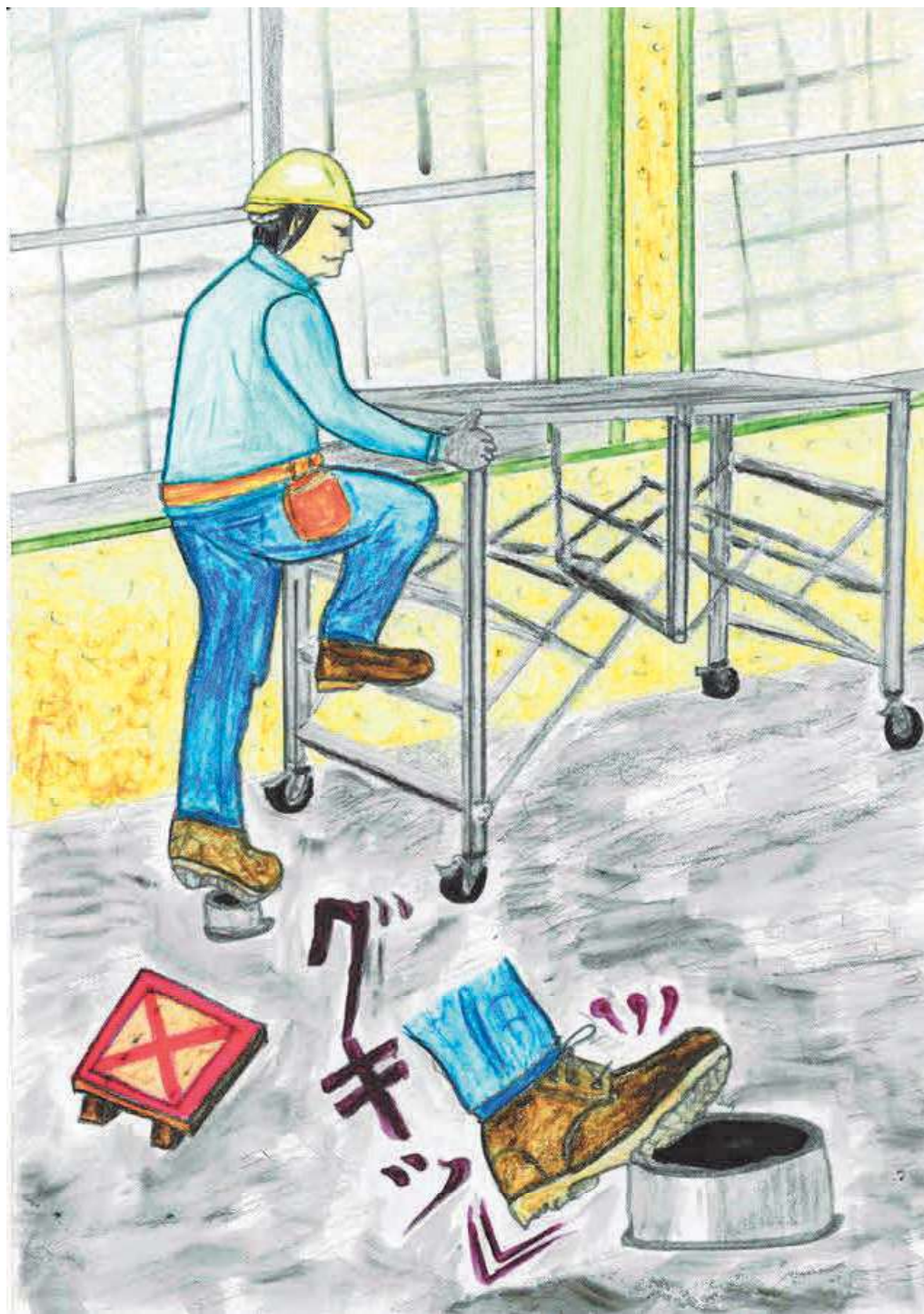
【傷病・日数】左足首捻挫で8日休業

【不安全状態】

- ・床から管が出ていた
- ・らくらく台のLサイズの単独使用をしていた

【不安全行動】

- ・床から出ていた管が足場になると思い、わざわざその上に乗った（危険軽視）
- ・らくらく台はM・Sサイズと一緒に組み合わせて昇降用とすべきところ、単独で使用していた（近道省略行動本能・危険軽視）



災害事例No.7 激突

【年齢・経験】66歳・40年

【作業】改修工事現場でのガラス入りアルミサッシの搬入で荷捌き・荷受けをしていた

【発生状況】6台目の荷下ろしが終わった時に、トラックの荷台から地上に飛び降りた

【事故の型】激突

【傷病・日数】左足首骨折で180日休業

【不安全状態】

- ・荷台の高さは約1メートルあった
- ・被災者は66歳の高齢者であった

【不安全行動】

- ・昇降設備があったのに使用しないで飛び降りた（危険軽視・近道省略行動本能）
 - ・大量の搬入で複数人が関わっていたが昇降設備が使われていなかった（集団欠陥）
- ※昇降設備はトラックに積まれていた

※人が自ら飛び降りた場合は激突に分類される



災害事例No.8 挟まれ

【年齢・経験】54歳・16年

【作業】外開きドアに平行型ドアクローザを取付けしていた

【発生状況】扉が突風にあおられて外壁に衝突しそうになったため、左手でドアクローザのアームを掴まえた時に、その手がドアクローザとアームの間に挟まれた

【事故の型】挟まれ

【傷病・日数】左手中指第一関節骨折で7日休業

【不安全状態】

- ・外は猛吹雪で風が強かった
- ・夕方で薄暗くなっていたので焦っていた

【不安全行動】

- ・扉のあおり止めをせずに作業を進めていた（危険軽視・近道省略行動本能）
- ・扉と外壁の衝突を防ぐために、反射的にドアクローザのアームを掴んでしまった（場面行動本能）



災害事例No.9 切れこすれ

【年齢・経験】68歳・42年

【作業】改修工事現場内で産廃ヤードの巡視をしていた

【発生状況】

床養生のベニヤ板のスキマの段差に躓いた時に、咄嗟に右手を出したところに廃棄するガラスが立てかけられていたため、前腕と上腕に切創を負った

【事故の型】切れこすれ

【傷病・日数】右腕切創で14日休業

【不安全状態】

- ・ベニヤ板のスキマに段差があった
- ・薄ベニヤだったので多少の反りがあった

【不安全行動】

- ・巡視中の移動で足元を確認せずに歩いていた（不注意・危険軽視）
- ・ガラスがあると意識せず、瞬間的に倒れまいと右手を出してしまった（場面行動本能）





災害事例No.10 切れこすれ

【年齢・経験】58歳・23年

【作業】個人邸での軽量シャッターを取付けしていた

【発生状況】先に取り付け済みのブラケットの下をくぐって脚立足場（6尺2基・作業床高さ1200mm）から降りようとした時に、後頭部がブラケットに接触した

【事故の型】切れこすれ

【傷病・日数】右後頭部切創で7日休業

【不安全状態】

- ・頭上に取付け済みのブラケットがあった

【不安全行動】

- ・まぐさ長さのちょっとした確認作業だと思い、ヘルメットを被っていないかった（危険軽視・近道省略行動本能）
- ・まぐさを手に持ったまま降りようとして、ガラス戸とまぐさとの距離の方を気にしていて、頭上に注意していなかった（不注意）

当業界の労働災害統計③

暑い時期の午後に災害が多く発生している

墜落転落及び転倒で6人圧倒的に多い



発生月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	1	2			1		2	2	2			

発生時間	8時以前	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降
件数		2			2			2	1	3		

休業日数 \ 事故の型	墜落 転落	転倒	挟まれ	飛来 落下	激突	切れ 擦れ	休業日数 小計↓
4～10日	2		1			1	4
11～20日							0
21～30日		1					1
31～60日	1					1	2
61～90日							0
91～120日	1						1
120日以上	1				1		2
死亡							0
事故の型 小計→	5	1	1	0	1	2	10

厚生労働省資料抜粋

働く人の 今すぐ使える 熱中症ガイド

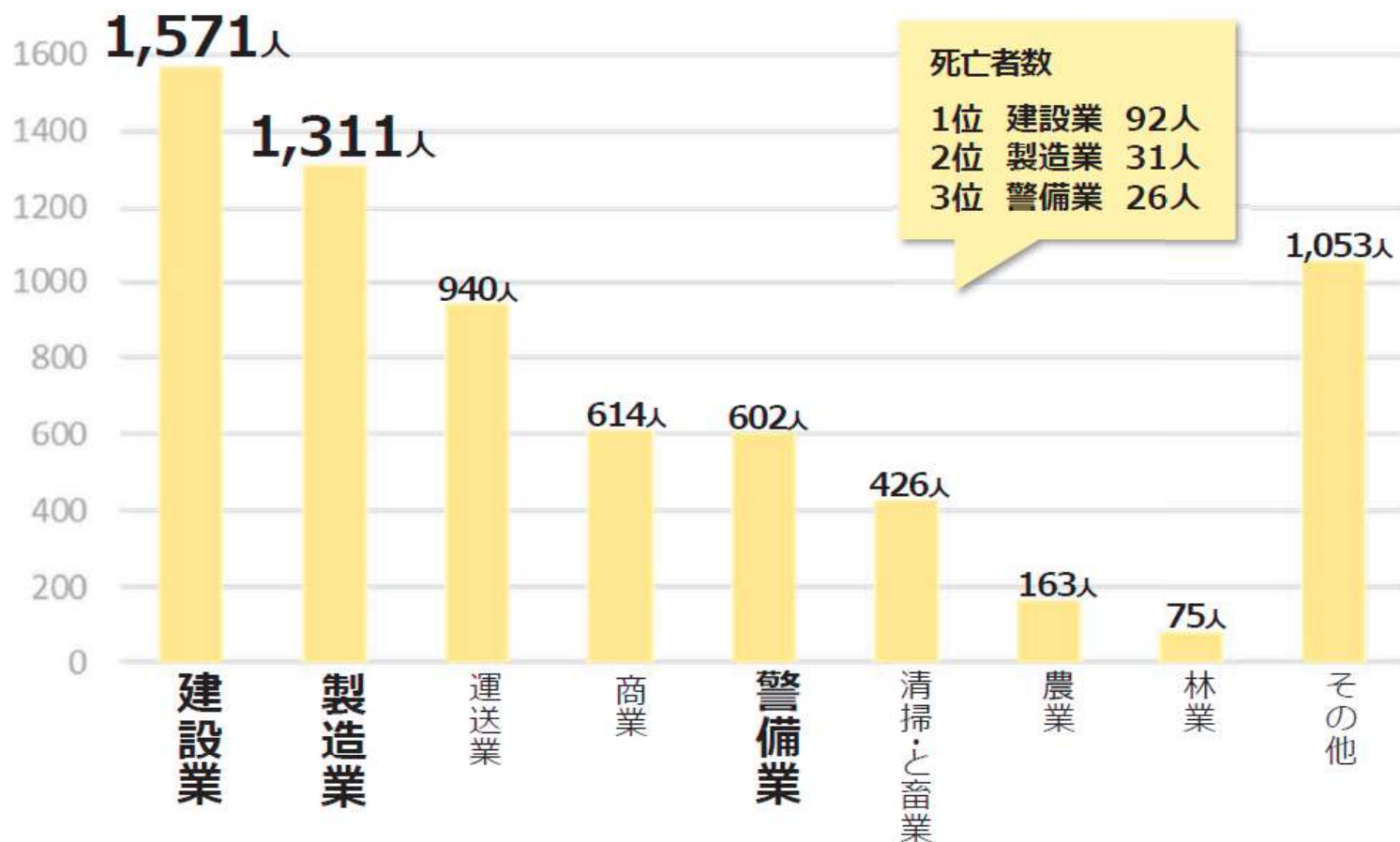


01

熱中症から 命を守る

1. 職場で熱中症になった人 -----
2. いつもと違うと思ったら、熱中症を疑え -----
3. 現場で作業員が倒れたときの -----
「命を救う行動」と「あやまった行動」
4. 熱中症「応急手当」カード(携帯用) --- -----

1. 職場で熱中症になった人 (死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数)



2013年～2022年の累計値

2. いつもと違うと思ったら、熱中症を疑え

あれっ、何かおかしい

手足がつる

立ちくらみ・めまい

吐き気

汗のかき方がおかしい

汗が止まらない／汗がでない



これも初期症状

何となく体調が悪い

すぐに疲れる

あの人、ちょっとヘン

イライラしている

フラフラしている

呼びかけに反応しない

ボーッとしている

専門知識がないと
熱中症か判断できない



すぐに周囲の人や
現場管理者に申し出る

直ちに作業中止 ▶ 『119番』！

3. 「命を救う行動」 現場で作業員が倒れたときの ○ 対応

▶ 作業員の様子がおかしいと思ったら...



③

救急搬送
▼
生還

すぐに**119**番▶水をかけ、全身を『**急速冷却**』！

➡ 「水かけ」で急速冷却（アスリートの世界では一般的）



© JSPO（公益財団法人日本スポーツ協会）

【スポーツ活動中の熱中症予防】ch.5 身体冷却法 -応急処置編-
「水道水散布法」2:46～参照

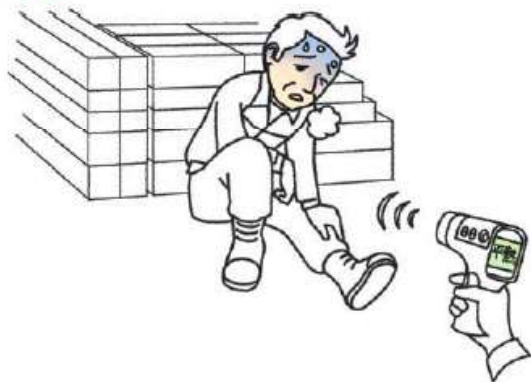
<https://www.youtube.com/watch?v=g2FZVArhb48&t=6s>



「あやまった行動」 現場で作業員が倒れたときの × 対応

▶ 作業員の様子がおかしいと思ったが...

①



意識状態は悪かったが
平熱だったので
大丈夫だと判断

②



クーラーをかけた車内で、ひとりで休ませた
しばらくして様子を見に行くと
意識がなく、高熱になっていた

③

救急搬送 ▼ 心肺停止

大丈夫そうだったので「ひとり」で休ませた

4. 熱中症「応急手当」カード（携帯用）

〈オモテ面〉

熱中症の応急手当

いつもと違うと思ったら、すぐに **119** 番



救急車到着まで



作業着を脱がせ

水をかけ 全身を急速冷却

〈ウラ面〉

前日のチェック

- ☒ 仕事前日の飲酒は控えめに
- ☒ ぐっすり眠る
- ☒ 熱中症警戒アラート確認

仕事前のチェック

- ☒ よく眠れたか
- ☒ 食事をしたか
- ☒ 体調は良いか
- ☒ 二日酔いしていないか
- ☒ 熱中症警戒アラート確認

仕事中のチェック



詳しくはコチラ

- ☒ 単独作業を避け、声をかけ合う
- ☒ 監督者は現場パトロール
- ☒ 水分・塩分の補給
- ☒ こまめに休憩



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

■ パソコンからデータをダウンロードして印刷

（両面印刷用）



（A4／表裏10枚）

（片面印刷用）



（A4／表裏一体）

■ スマホに画像データをダウンロード



<https://neccyusho.mhlw.go.jp/download/>

02

危ない状況と対策

1. 建設現場(屋外)編

1. 直射日光が当たる -----
2. 風通しが悪い -----
3. 重量物を運ぶ -----
4. 休憩場所まで遠い -----

1. 直射日光が当たる

⚠ 暑さ指数が高くなる

対策

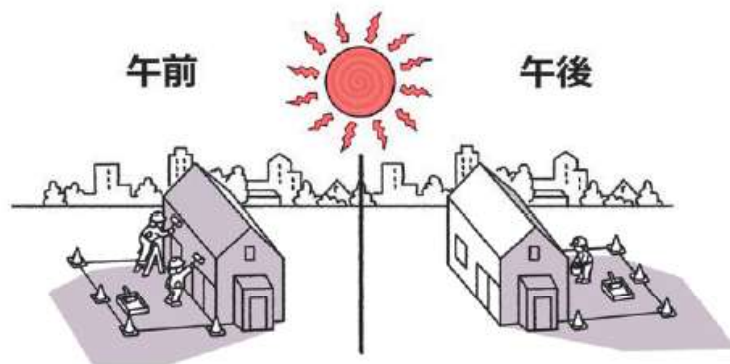
日陰を作る

日陰の所から作業

早出・早帰り



テントで日陰を作る



日陰の所から作業



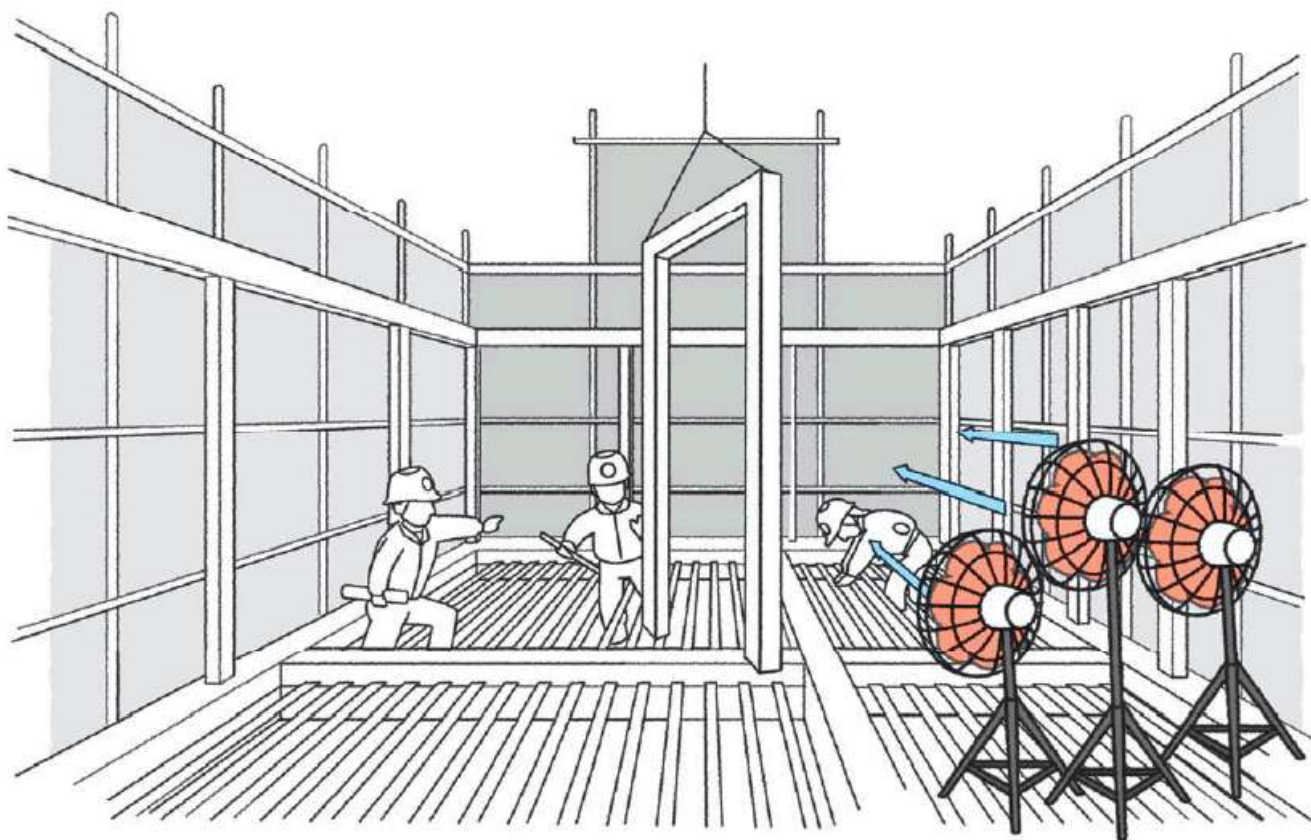
遮れないときは
予防対策グッズで身を守る

2. 風通しが悪い (養生シート等で覆われている)

⚠ 高温多湿になる

対策

大型ファンで気流を作る



3. 重量物を運ぶ

⚠ 身体に過度の負担がかかる

対策

台車

リフター

2人で作業



台車



リフター



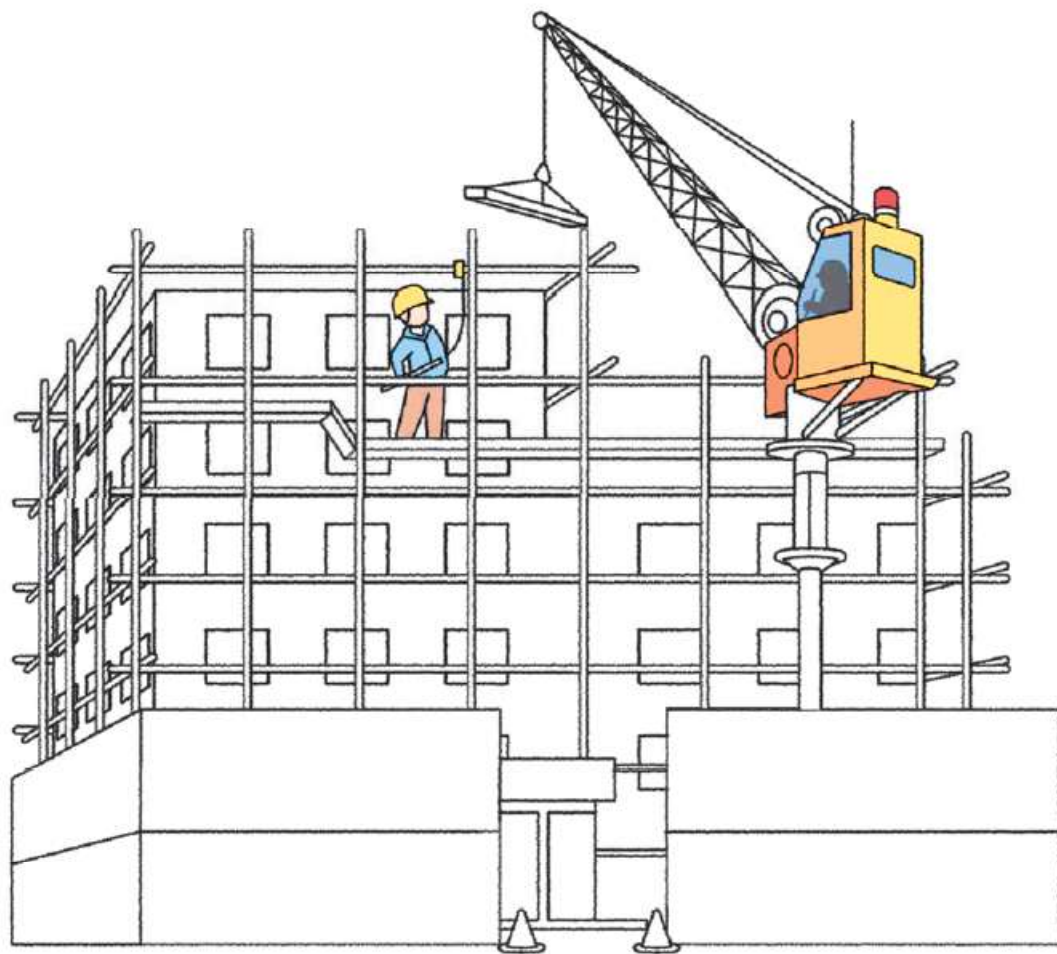
2人で作業

4. 休憩場所まで遠い

⚠ 往復だけで休憩時間がなくなる

対策

移動時間を考慮した休憩時間の設定



事業主・管理者の方へ
移動時間 ≠ 休憩時間
ご配慮ください

03 予防法

- 1 チェック事項・注意点
2. WBGT基準値について

1. チェック事項・注意点



今日も暑いぞ!

あなたの
できていますか? 熱中症対策



健康チェック

- ☒ よく眠れたか
- ☒ 朝ご飯は食べたか
- ☒ 体調はいつもと変わらないか
- ☒ 既往症（糖尿病、高血圧症など）はないか



服装・保護具チェック

- ☒ 電動ファン付き作業服のバッテリーは十分あるか
- ☒ 電動ファン付き作業服のフィルターは目詰まりしていないか
- ☒ 日よけなど対策グッズは適切に装着しているか
- ☒ 緊急時のためスマホは持ったか



作業前・作業中のチェック

- ✓ 扇風機などの設備はあるか
- ✓ 近くに日陰(休憩場所)はあるか
- ✓ 作業前にプレクーリング※を済ませたか
※プレクーリング: アイススラシーを飲む、足を冷水に漬けるなど作業前に身体を冷やすこと。
- ✓ 水分、塩分は、こまめに補給しているか
- ✓ お互いに声掛けしているか
- ✓ 汗をかいたら、休憩時に着替えているか
- ✓ 休憩中は、涼しい場所でクールダウンできたか



緊急時のチェック

- ✓ 体調不良を感じたら、近くに伝える人がいるか
- ✓ 自分や仲間の体調不良が判明したら、
連絡先(第一報)はわかっているか

連絡先

— —



➡ 仕事前に食事をする

「1日3食」しっかり食べれば、必要な塩分は摂取できる



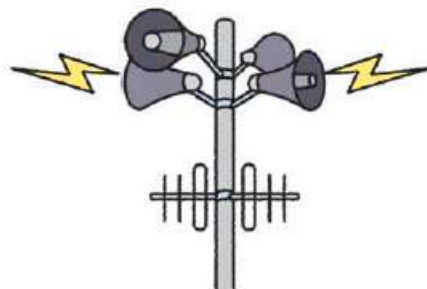
日本人の食塩摂取量の平均値：10.1g/日
(摂取目標の平均値：8gなので塩分摂取過多)

令和元年（2019）「国民健康・栄養調査」より

➡ 熱中症警戒アラート

【期間】 4月下旬～10月下旬

前日夕方（17時頃）、または当日早朝（5時頃）に都道府県ごとに発表
テレビ・ラジオ・防災無線・SNSを通じて発信



熱中症予防情報サイト
<https://www.wbgt.env.go.jp/>



暑さ指数 (WBGT)

Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)

暑さ指数 (WBGT) は、熱中症を予防することを目的とした指標
作業場所における暑さ指数が、基準値を超えるおそれがある場合には
熱中症になる可能性が高くなるので対策を講じる

暑さ指数を確認する

熱中症予防情報サイトで確認できる



<https://www.wbgt.env.go.jp/>

暑さ指数を測定する

WBGT指数計で自分の職場で測定できる



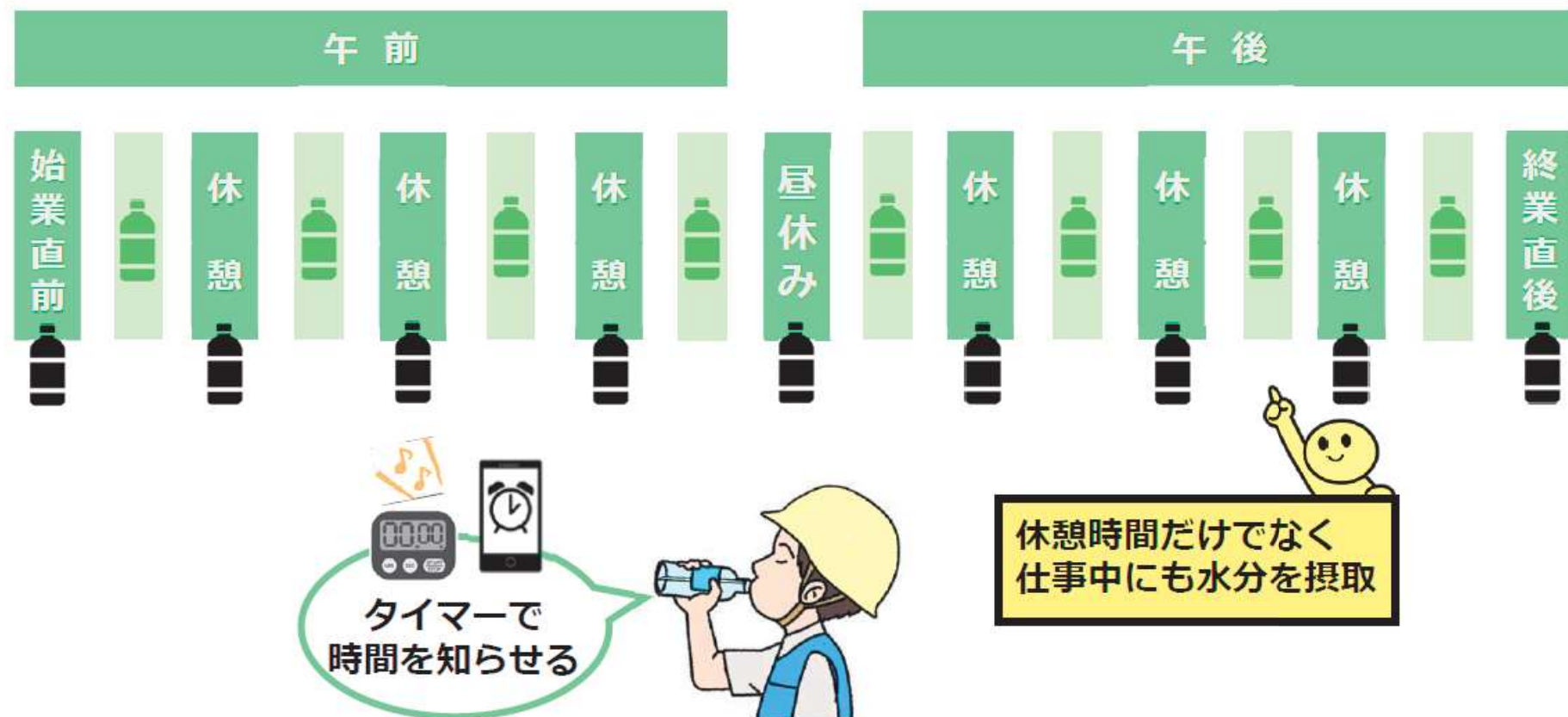
詳しくはこちら



<https://neccyusho.mhlw.go.jp/img/04.pdf>

➡ 水分補給のタイミング

一般的な建設作業現場の休憩サイクルと水分補給例



水分補給も、大切な仕事！

➡ 水分補給の注意点

⚠ 塩分を同時に補給する



水分を摂らず
塩あめだけ舐めても
効果はありません！

スポーツ飲料、経口補水液を30分ごとに
コップ1杯（200ml）程度飲む

次頁参照

➡ スポーツ飲料・経口補水液の塩分について

⚠ 製品により成分量が異なる▶「栄養成分表示」を確認して選ぶ



栄養成分表示(100ml当たり)

エネルギー	25kcal
タンパク質	0g
脂質	0g
炭水化物	6.2g
食塩相当量	0.12g

← 食塩相当量：100mg当たり「0.1～0.2g」のものを選ぶ

糖분을控えたい人は、下記表示を参考に選ぶ

ゼロカロリー

カロリーオフ

糖質ゼロ

糖質オフ

「0カロリー」
「カロリーオフ」などの
違いについて



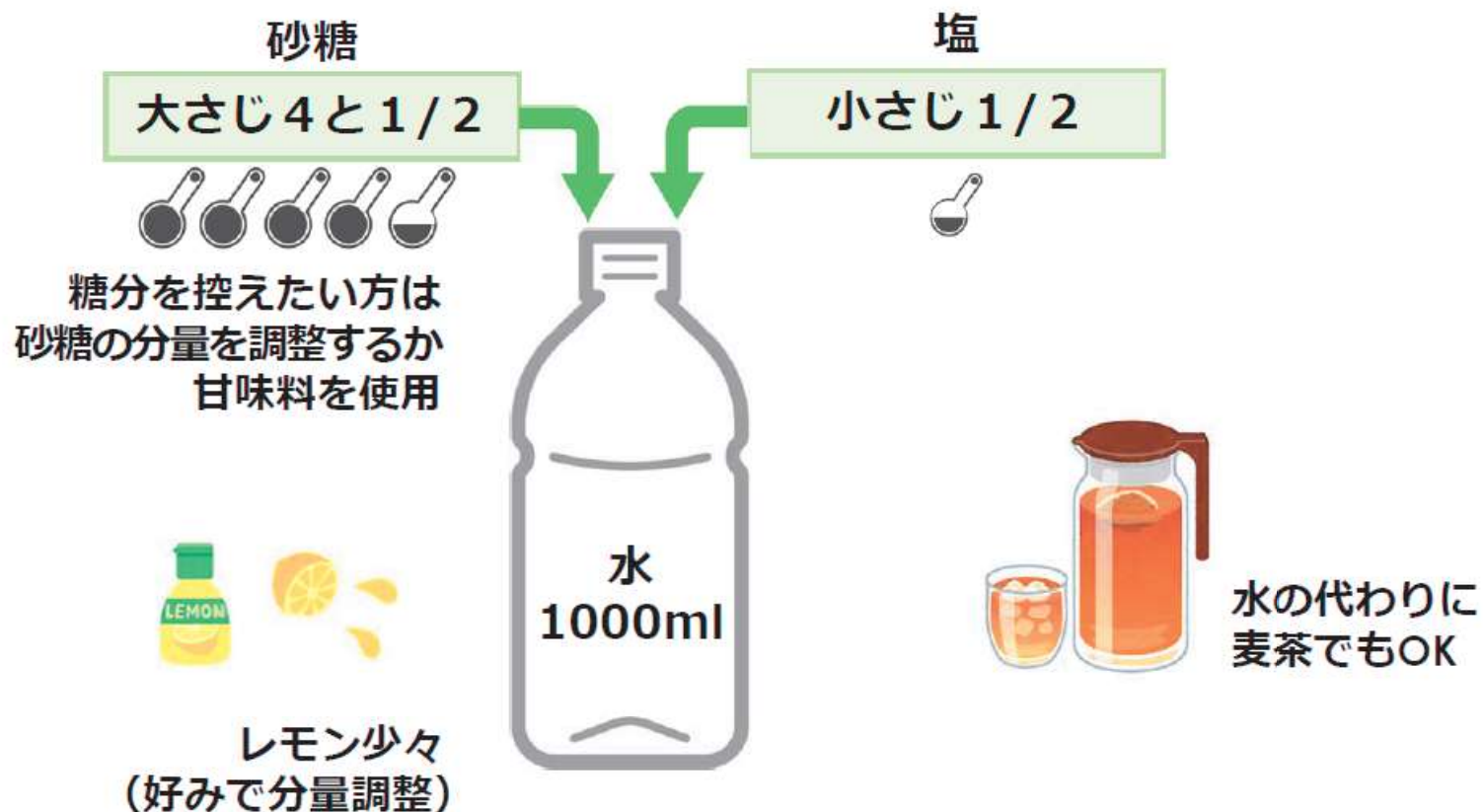
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/nutrient_declaration/consumers/assets/food_labeling_cms206_20210519_02.pdf

自分で「熱中症予防ドリンク」を作りたい方は

次頁参照

➡ 熱中症予防ドリンクの作り方

⚠ 作った日に飲み切る



➡ アイスラリー

アイスラリーとは、微細な氷と液体が混じり合った流動性のある氷状態の飲料
氷の結晶が小さいので飲みやすく、水よりも冷却能力がある



特 長

- 液体よりもゆっくりと冷たさが身体に浸透する
- 水分だけでなく、塩分や栄養素も補給

目安量

1回に100g程度を複数回（休憩時間毎に）



一度に大量に飲むと胃に負担をかけるため
少しずつ数回に分けて飲む

参 考

- 冷たい飲み物は、約 4℃
- アイスラリーは、約-1℃



➡ アイススラリーの作り方

凍らせたスポーツ飲料140mlに対して
液体のスポーツ飲料100mlと一緒にミキサーに入れて攪拌
凍らせたスポーツ飲料の代わりに、氷を使用しても構わない



2. WBGT基準値について

WBGT基準値は『身体の作業強度や暑さへの順化(慣れ)』によって異なる

区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例	各身体作業強度で作業する場合のWBGT値の目安の値	
		暑熱順化者のWBGT基準値℃	暑熱非順化者のWBGT基準値℃
0 安静	安静、楽な座位 	33	32
1 低代謝率	・軽い手作業(書く、タイピング等) ・手及び腕の作業 ・腕及び脚の作業 など 	30	29
2 中程度代謝率	・継続的な手及び腕の作業 [くぎ(釘)打ち、盛土] ・腕及び脚の作業、腕と胴体の作業 など 	28	26
3 高代謝率	・強度の腕及び胴体の作業 ・ショベル作業、ハンマー作業 ・重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする など 	26	23
4 極高代謝率	・最大速度の速さでのとても激しい活動 ・激しくシャベルを使ったり掘ったりする など 	25	20

建設現場
での
ほとんどの
作業は
区分2以上
になる！

温度と湿度からのWBGT値早見表

31℃以上：危険（全員に危険）
28-31℃：厳重警戒（激しい運動は中止）
25-28℃：警戒（積極的に休息）
21-25℃：注意（水分補給を心がける）
21℃未満：ほぼ安全

屋外用

湿度⇒ ／気温	50%	60%	70%	80%	90%	100%
25℃ (夏日)	23	24	25	26	27	28
28℃	26	27	28	29	30	31
30℃ (真夏日)	27	28	29	30	31	32
32℃	29	30	31	32	33	34
35℃ (猛暑日)	31	32	33	34	35	36

屋内用

湿度⇒ ／気温	50%	60%	70%	80%	90%	100%
25℃ (夏日)	22	23	24	25	26	27
28℃	25	26	27	28	29	30
30℃ (真夏日)	26	27	28	29	30	31
32℃	28	29	30	31	32	33
35℃ (猛暑日)	30	31	32	33	34	35

湿度	一般的な感じ方・表現例（日本の気象関係者による）
50%	さっぱり・カラッとして快適。洗濯物もよく乾く。
60%	やや湿り気を感じるが、まだ快適。過ごしやすい。
70%	しっとり感が増し、少し蒸し暑さやジメジメ感を感じ始める。
80%	明らかにジメジメと感じ、不快感が強くなる。梅雨時の印象。
90%	かなり蒸し暑く、肌にまとわりつくような重い空気感。
100%	空気が飽和状態。霧や結露が発生しやすく、非常に不快。

**ジメジメと感じていたら
気温28℃でも
厳重警戒領域に入る！**

04 取組例

1. 皮膚をつまみ上げて「脱水状態」チェック -----
2. 爪押しで「隠れ脱水症」チェック -----
3. 尿の色で「脱水状態」チェック -----
4. ウェアラブル端末で体調の見える化 -----

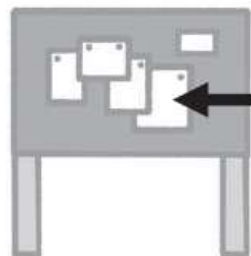
1. 皮膚をつまみ上げて「脱水状態」チェック

手の甲の皮膚をつまみ上げて放し
もとに戻るのに2秒以上かかれば「脱水」の疑いあり



高齢者で確認しやすい

2. 爪押しで「隠れ脱水症」チェック



熱中症の予備軍

『隠れ脱水症』のを見つけ方

爪押しでセルフチェック



手の親指の爪を逆の指でつまむ



つまんだ指を離したとき、白かった爪の色がピンクに戻るのに3秒以上かかれば脱水症を起こしている可能性があります



<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001088384.pdf>

3. 尿の色で「脱水状態」チェック



熱中症の予備軍

『隠れ脱水症』のを見つけ方

尿の色でセルフチェック

①

いい感じです。普段通りに水分をとりましょう。

②

問題はありませんが、もう少し給水しましょう（コップ1杯程度）。

③

1時間以内に約250mlの水分をとりましょう。
屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。

④

今すぐ250mlの水分をとりましょう。
屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。

⑤

今すぐ1000mlの水分をとりましょう。
この色より濃い、あるいは赤／茶色が混じっているときは、
脱水症状以外の問題が考えられます。すぐに病院に行きましょう。

身体の水分量が不足

②～⑤
水分を補給して
身体の水分量を
回復させましょう

⑤より濃いときは
すぐに報告して下さい



<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001088385.pdf>

4.ウェアラブル端末で体調の見える化

リスクが見てわかる



「ウェアラブル端末」には、さまざまなタイプの製品があります。
使いたい機能、使い勝手、精度、バッテリーの駆動時間などを考慮して
目的にあったものを試してみるといいでしょう。



- 熱中症対策・予兆検知
- 転倒・転落検知
- 屋外・屋内位置測定
- SOS発信

出典

日本精工株式会社 石部工場

気象庁資料抜粋

月別の平均気温・降水量

向こう3か月の天候の見通し(6月～8月) 2026年5月19日発表)

	平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
北日本	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
東日本	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
西日本	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
沖縄・奄美	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並20 高70% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	平均気温 6月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 50%以上 40% 40%以上	平均気温 7月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 50%以上 40% 40%以上	平均気温 8月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 50%以上 40% 40%以上

環境省大臣官房資料抜粋

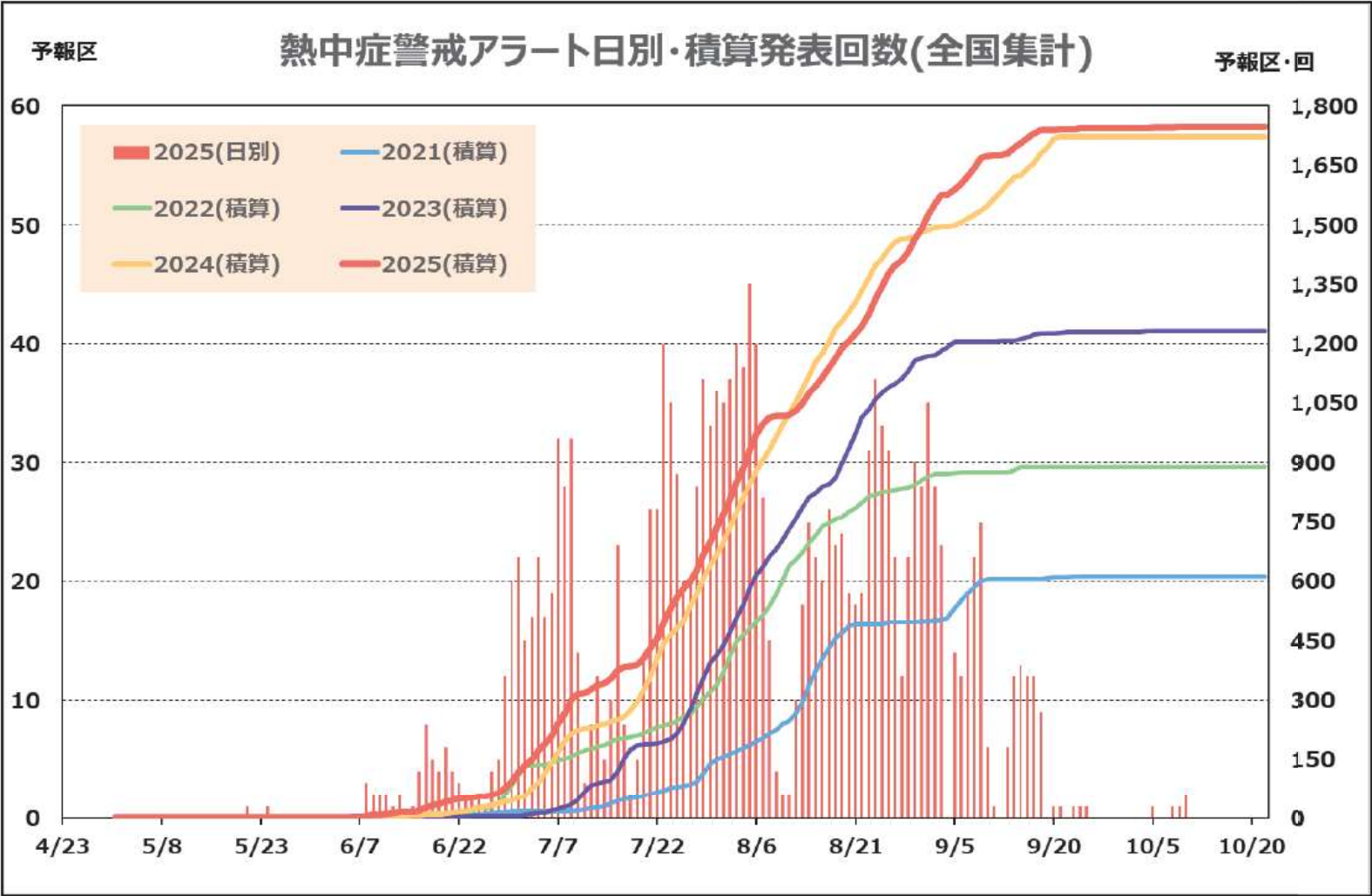


図2 2025年の日々の警戒アラート発表回数と、過去4年間の積算発表回数(全国集計)

表2 全国の熱中症警戒アラート発表回数(2021年～2025年)

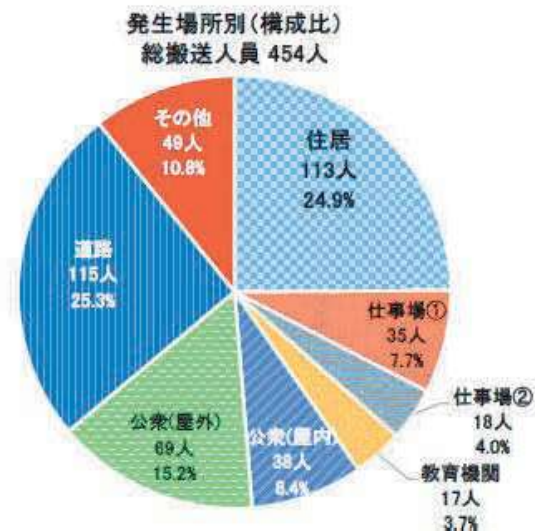
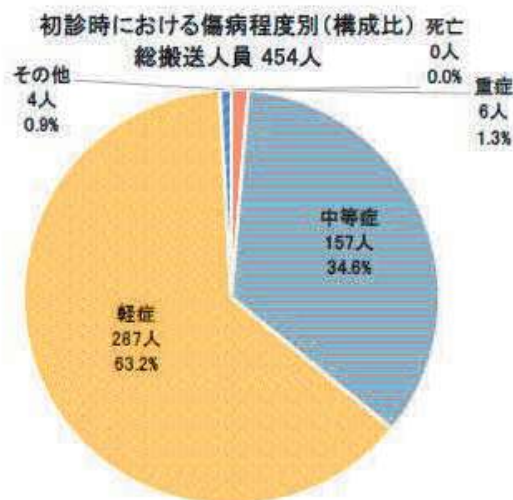
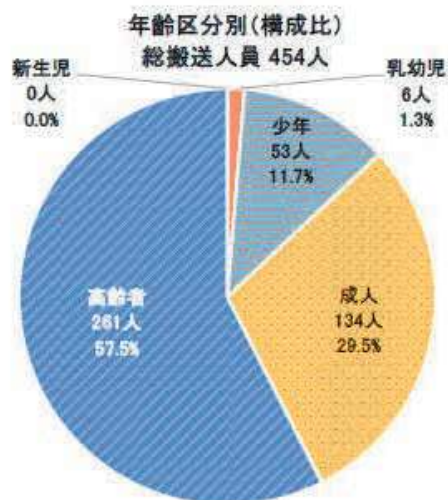
年	2021	2022	2023	2024	2025
発表回数	613	889	1,232	1,722	1,749

総務省消防庁資料抜粋

全国の熱中症による救急搬送状況 令和8年5月4日～5月10日(速報値)

日付	曜日	年齢区分別(人)						初診時における傷病程度別(人)						発生場所別(人)									
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計	
5月4日	月	0	1	6	21	19	47	0	0	16	31	0	47	15	0	1	1	6	11	9	4	47	
5月5日	火	0	1	4	14	28	47	0	0	14	31	2	47	8	2	1	1	6	7	17	5	47	
5月6日	水	0	0	3	7	21	31	0	0	13	18	0	31	10	3	3	0	2	3	5	5	31	
5月7日	木	0	0	13	39	105	157	0	4	53	99	1	157	39	18	8	6	12	16	42	16	157	
5月8日	金	0	1	3	16	14	34	0	0	11	22	1	34	9	10	0	2	4	2	5	2	34	
5月9日	土	0	1	8	9	18	36	0	0	14	22	0	36	9	1	1	3	4	2	9	7	36	
5月10日	日	0	2	16	28	56	102	0	2	36	64	0	102	23	1	4	4	4	28	28	10	102	
合計		0	6	53	134	261	454	0	6	157	287	4	454	113	35	18	17	38	69	115	49	454	
搬送人員に対する割合		0.0%	1.3%	11.7%	29.5%	57.5%	100.0%	0.0%	1.3%	34.6%	63.2%	0.9%	100.0%	24.9%	7.7%	4.0%	3.7%	8.4%	15.2%	25.3%	10.8%	100.0%	

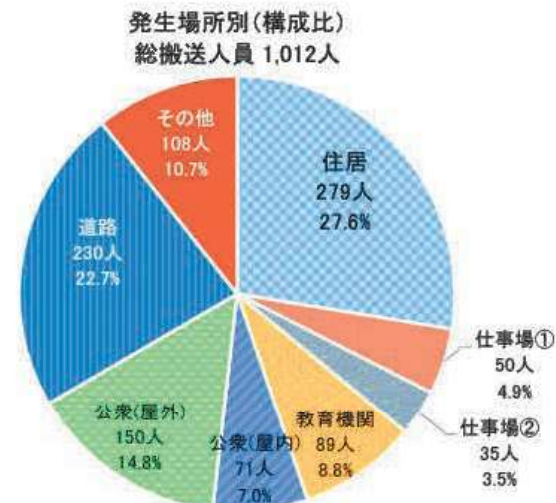
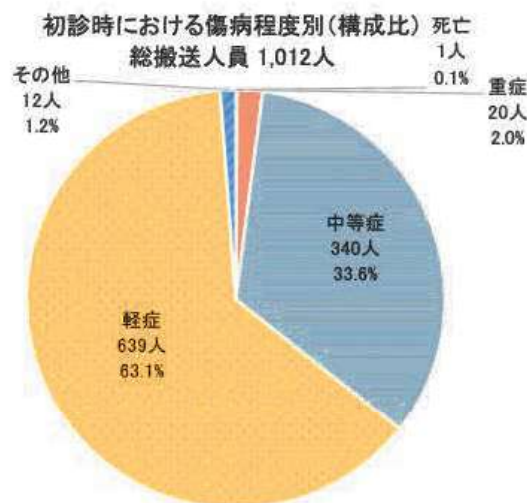
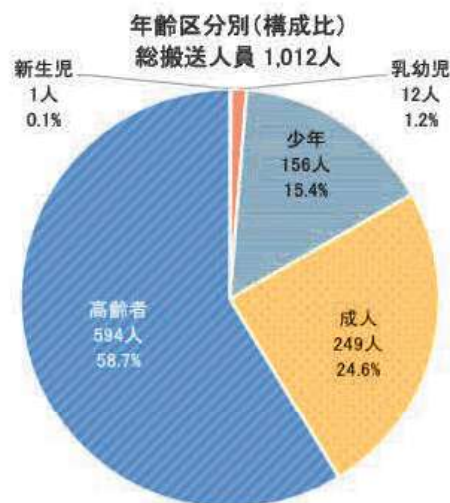
※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



全国の熱中症による救急搬送状況 令和8年5月11日～5月17日(速報値)

日付	曜日	年齢区分別(人)						初診時における傷病程度別(人)						発生場所別(人)									
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計	
5月11日	月	0	0	10	20	60	90	0	1	35	53	1	90	31	8	3	6	4	8	16	14	90	
5月12日	火	0	2	11	14	55	82	0	2	27	53	0	82	21	5	2	7	4	6	27	10	82	
5月13日	水	0	2	14	27	70	113	0	2	46	63	2	113	34	9	8	13	7	16	22	4	113	
5月14日	木	0	1	23	19	60	103	0	0	23	77	3	103	20	8	8	17	9	10	25	6	103	
5月15日	金	0	1	22	21	62	106	0	4	37	64	1	106	33	8	1	13	7	14	25	5	106	
5月16日	土	1	3	35	48	106	193	0	2	63	128	0	193	46	5	2	16	17	38	46	23	193	
5月17日	日	0	3	41	100	181	325	1	9	109	201	5	325	94	7	11	17	23	58	69	46	325	
合計		1	12	156	249	594	1,012	1	20	340	639	12	1,012	279	50	35	89	71	150	230	108	1,012	
搬送人員に対する割合		0.1%	1.2%	15.4%	24.6%	58.7%	100.0%	0.1%	2.0%	33.6%	63.1%	1.2%	100.0%	27.6%	4.9%	3.5%	8.8%	7.0%	14.8%	22.7%	10.7%	100.0%	

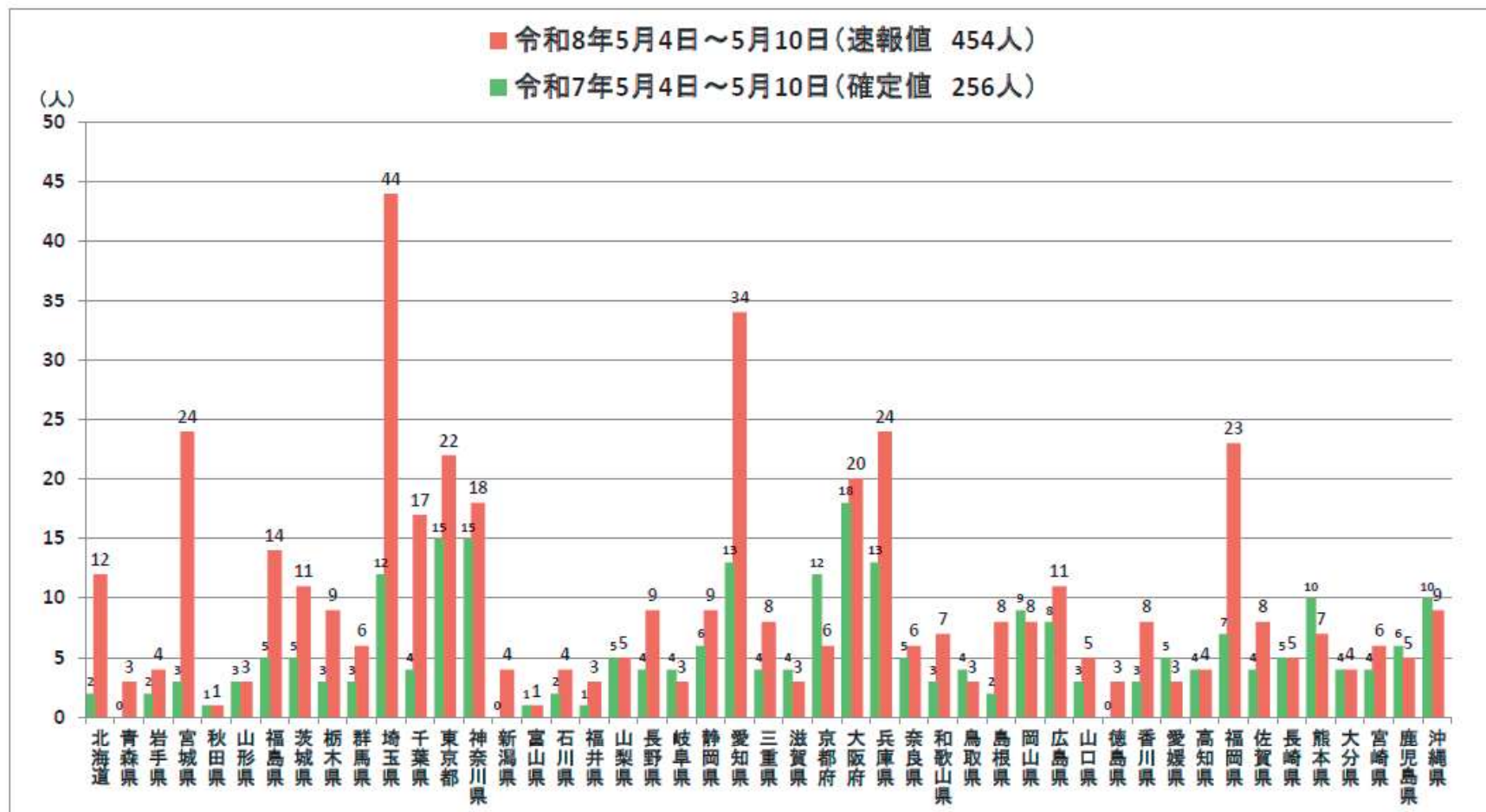
※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



総務省消防庁資料抜粋

令和8年 都道府県別熱中症による救急搬送人員

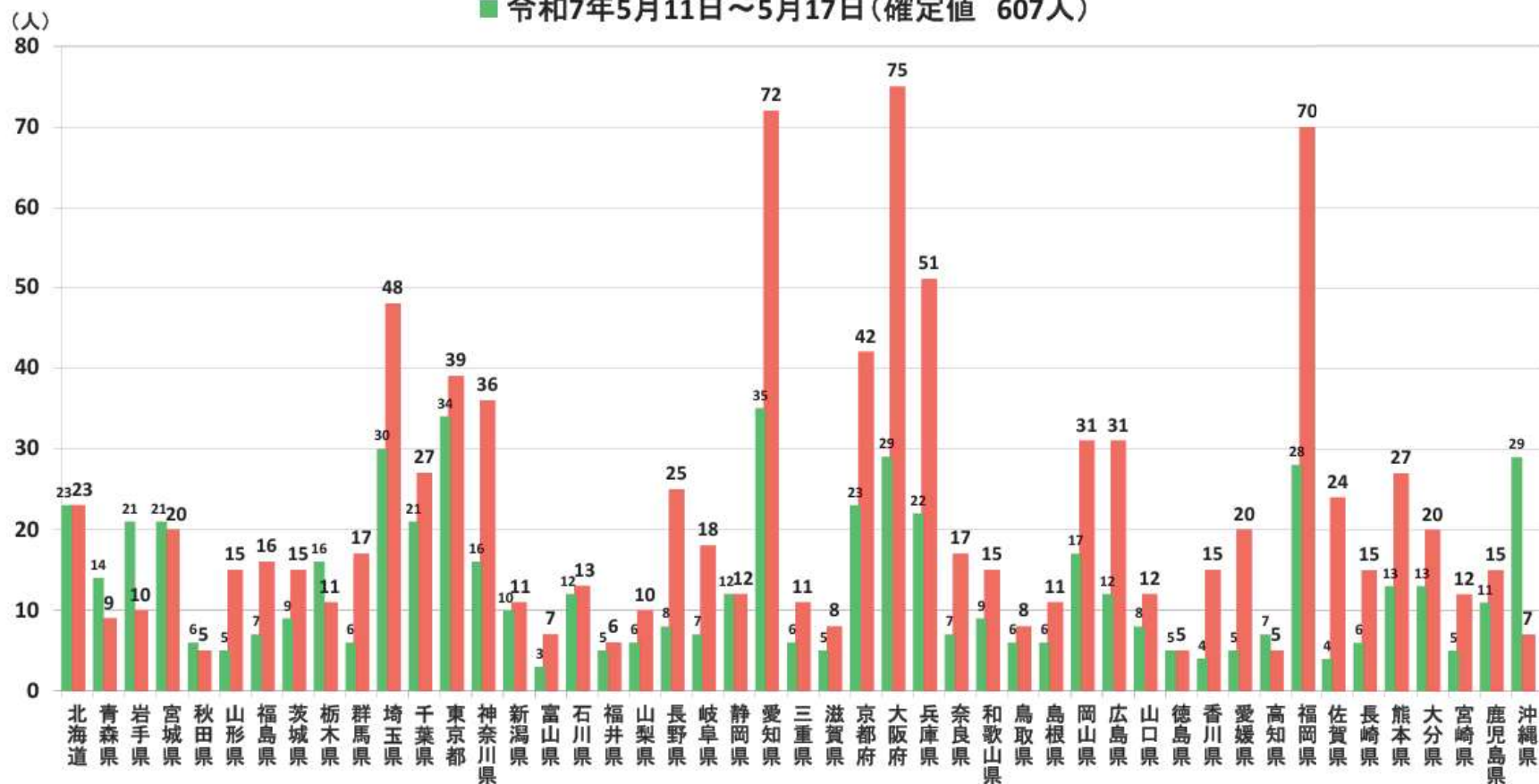
前年同時期との比較（直近週：5月4日から5月10日）



* 速報値(赤)の救急搬送人員は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

令和8年 都道府県別熱中症による救急搬送人員 前年同時期との比較（直近週：5月11日から5月17日）

■ 令和8年5月11日～5月17日（速報値 1,012人）
■ 令和7年5月11日～5月17日（確定値 607人）



* 速報値（赤）の救急搬送人員は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

各省庁抜粋資料

厚生労働省(熱中症ガイド)

[001103539.pdf](#)



気象庁(3か月予報)

[気象庁 | 季節予報解説資料](#)

環境省(令和7年4月23日～10月22日までの)

[R07_heatillness_report_24.pdf](#)

総務省消防庁(熱中症情報)

[熱中症情報 | 熱中症情報 | 総務省消防庁](#)

第40回施工管理者安全推進大会



一般社団法人

建築開口部協会



一般社団法人

日本サッシ協会

Japan Sash Manufacturers Association

ご清聴ありがとうございました
皆さん、ご安全に！

